



## 平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 29 日

上場会社名 トリニティ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6382

URL <http://www.trinityind.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 宝田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 深津 浩彦

(TEL) 0565 (24) 4800

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 6 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	6,617	2.6	215	—	293	—	206	—
22 年 3 月期第 1 四半期	6,449	△32.4	△104	—	△53	—	△85	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	11.32	—
22 年 3 月期第 1 四半期	△4.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	27,385	16,186	58.5	880.08
22 年 3 月期	27,036	16,161	59.2	878.69

(参考)自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 16,026 百万円 22 年 3 月期 16,001 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23 年 3 月期	—	—	—	—	—
23 年 3 月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)1 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注)2 現時点では、平成 23 年 3 月期配当予想につきましては未定であります。

### 3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	12,000	4.1	△100	—	50	—	20	—	1.10
通期	24,000	△1.9	△350	—	△100	—	△150	—	△8.24

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無  
新規 - 社（社名 - ） 、除外 - 社（社名 - ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更：有  
② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	18,220,000株	22年3月期	18,220,000株
23年3月期1Q	9,693株	22年3月期	9,693株
23年3月期1Q	18,210,307株	22年3月期1Q	18,210,411株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。
- 平成23年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合的に勘案し、開示可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新興国を中心とした世界経済の回復により、緩やかに持ち直しておりますが、企業の設備投資や個人消費は未だ回復しておらず、依然厳しい状況が続きました。

当社グループの主要顧客である自動車業界は回復基調にあり、新興国を中心に拠点の整備・充実に向けた動きが見られますが、慎重な設備投資姿勢は崩しておらず、当社を取巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は66億1千7百万円と前年同四半期と比べ1億6千8百万円(2.6%増)の増収となりました。

営業利益は2億1千5百万円(前年同四半期は1億4百万円の営業損失)、経常利益は2億9千3百万円(前年同四半期は5千3百万円の経常損失)、四半期純利益は2億6百万円(前年同四半期は8千5百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

- ・設備部門

設備部門は、塗装設備納入等により売上高35億2千9百万円、営業利益は1億5千5百万円となりました。

- ・自動車部品部門

自動車部品部門は、プリウス、ランドクルーザー等の内装部品およびクラウン、マークX等の外装部品の生産・販売により売上高は30億8千8百万円、営業利益は1億4千9百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、147億1千6百万円となりました。これは、現金及び預金が10億2千5百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、126億6千9百万円となりました。これは、有形固定資産が2億6千5百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、273億8千5百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、89億7千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億1千5百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、22億2千5百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、111億9千9百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、161億8千6百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、71億5百万円となり、前連結会計年度末より10億6千1百万円(17.6%増)増加となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は11億8千9百万円(前年同四半期は3億8千2百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億6千2百万円、減価償却費2億9千8百万円及び仕入債務の増加額4億2千5百万円の増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5千7百万円(前年同四半期比88.4%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7千9百万円(前年同四半期比57.1%減)となりました。これは主に、配当金の支払額7千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年4月28日に公表いたしました予想に変更はありません。

平成23年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合的に勘案し、開示可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 2 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 3 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### 4 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の算定方法

##### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (会計処理基準に関する事項の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

#### (表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,459,768	6,434,752
受取手形及び売掛金	6,239,349	6,448,035
製品	29,595	23,862
仕掛品	383,308	316,373
原材料	264,862	266,535
その他	341,407	360,096
貸倒引当金	△2,100	△1,532
流動資産合計	14,716,190	13,848,122
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,897,694	4,897,694
その他(純額)	5,215,115	5,480,357
有形固定資産合計	10,112,810	10,378,051
無形固定資産		
投資その他の資産	106,649	115,715
その他	2,475,573	2,721,555
貸倒引当金	△25,885	△27,255
投資その他の資産合計	2,449,688	2,694,300
固定資産合計	12,669,148	13,188,066
資産合計	27,385,339	27,036,189
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,241,541	4,826,352
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	66,429	54,444
賞与引当金	264,361	471,743
役員賞与引当金	784	4,540
完成工事補償引当金	148,765	201,274
その他	2,252,100	2,004,047
流動負債合計	8,973,982	8,562,402
固定負債		
退職給付引当金	1,111,039	1,055,166
役員退職慰労引当金	79,612	74,218
負ののれん	18,295	19,731
その他	1,016,140	1,162,705
固定負債合計	2,225,087	2,311,821
負債合計	11,199,070	10,874,223

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,311,000	1,311,000
資本剰余金	784,172	784,172
利益剰余金	13,963,914	13,848,793
自己株式	△6,196	△6,196
株主資本合計	16,052,890	15,937,769
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,713	399,404
為替換算調整勘定	△358,992	△336,029
評価・換算差額等合計	△26,279	63,375
少数株主持分	159,658	160,821
純資産合計	16,186,268	16,161,966
負債純資産合計	27,385,339	27,036,189

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,449,439	6,617,991
売上原価	5,733,396	5,591,135
売上総利益	716,042	1,026,856
販売費及び一般管理費	820,051	811,579
営業利益又は営業損失(△)	△104,008	215,277
営業外収益		
受取利息	12,727	11,027
受取配当金	6,847	6,029
持分法による投資利益	28,767	61,168
雑収入	3,742	8,597
営業外収益合計	52,085	86,822
営業外費用		
支払利息	28	1,972
為替差損	—	5,207
雑支出	1,063	1,430
営業外費用合計	1,092	8,609
経常利益又は経常損失(△)	△53,014	293,490
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31,350
特別損失合計	—	31,350
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,014	262,140
法人税等	31,789	56,011
少数株主損益調整前四半期純利益	—	206,129
少数株主利益又は少数株主損失(△)	519	△43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,323	206,172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△53,014	262,140
減価償却費	353,413	298,380
のれん償却額	△987	△1,435
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,851	55,873
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△36,028	5,394
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△666	△814
賞与引当金の増減額(△は減少)	△233,682	△207,382
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,687	△3,755
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△18,602	△52,015
受取利息及び受取配当金	△19,575	△17,057
有形固定資産除却損	1,040	629
支払利息	28	1,972
為替差損益(△は益)	△930	5,207
持分法による投資損益(△は益)	△28,767	△61,168
売上債権の増減額(△は増加)	572,833	202,141
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,597,849	△70,957
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,923,796	425,846
前受金の増減額(△は減少)	65,915	△73,515
未払消費税等の増減額(△は減少)	153,367	△119,371
その他	193,967	392,059
小計	△409,177	1,042,170
利息及び配当金の受取額	124,442	188,734
利息の支払額	△28	△105
法人税等の支払額	△97,689	△41,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	△382,452	1,189,052
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△11,241	—
定期預金の払戻による収入	—	5,487
有形固定資産の取得による支出	△509,345	△66,998
有形固定資産の売却による収入	47	—
貸付金の回収による収入	3,469	2,672
その他	23,954	1,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493,116	△57,438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△43	—
配当金の支払額	△182,104	△76,051
リース債務の返済による支出	△2,033	△2,617
その他	△1,680	△1,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,861	△79,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	90,977	9,709
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△970,452	1,061,533
現金及び現金同等物の期首残高	4,995,958	6,043,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,025,505	7,105,006

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：千円)

	設備部門	自動車部品部門	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,228,185	2,221,254	6,449,439	—	6,449,439
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,228,185	2,221,254	6,449,439	—	6,449,439
営業利益(又は営業損失)	251,932	△266,093	△14,161	△89,847	△104,008

- (注) 1 事業区分の方法  
事業区分の方法は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。  
2 各事業区分の主要製品

事業区分		主要製品
設備部門	塗装プラント	前処理装置、電着塗装装置、塗装ブース、乾燥炉、空気調和装置、排ガス処理装置、排水処理装置、暖房設備、各種コンベヤー
	塗装機器	静電塗装装置、自動塗装装置、塗料循環装置、二液式塗装装置、静電植毛装置、各種塗装機器
	産業機械	熱処理炉、オートクレーブ、静電塗油装置、粘着性ヒューム除去装置、洗浄機、濾過装置、鋳造設備、リークテスター、重油焚工場暖房装置、アスファルト溶着機
自動車部品部門		樹脂部品の成形(一般成形、インモールド成形、二層成形)・表面加工(塗装、曲面印刷)・組付け

- 3 当第1四半期連結累計期間から工事進行基準に変更しております。この変更に伴い、「設備部門」の売上高が29,226千円増加し、営業利益が2,531千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：千円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,782,982	666,457	—	6,449,439	—	6,449,439
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	29,703	—	—	29,703	△29,703	—
計	5,812,685	666,457	—	6,479,143	△29,703	6,449,439
営業利益(又は営業損失)	△20,762	8,262	△1,661	△14,161	△89,847	△104,008

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1) アジア……………中国、マレーシア、インド、タイ等  
(2) その他……………フランス等  
3 当第1四半期連結累計期間から工事進行基準に変更しております。この変更に伴い「日本」の売上高が29,226千円増加し、営業損失が2,531千円減少しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)  
(単位:千円)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	804,967	87,154	892,122
II 連結売上高	—	—	6,449,439
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.5%	1.4%	13.8%

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1) アジア……………インドネシア、タイ、台湾、中国、トルコ等  
(2) その他の地域……………アメリカ、カナダ、フランス等

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、事業部単位に経営資源の配分の決定及び業績評価を行うために、取締役会へ定期的に報告されているものであります。

当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「設備部門」及び「自動車部品部門」の2つを報告セグメントとしております。

「設備部門」は、塗装プラント・塗装機器及び産業機械の設計・製造及び販売を行っております。「自動車部品部門」は、自動車内外装部品の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	設備部門	自動車部品 部門	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,529,591	3,088,400	6,617,991	—	6,617,991
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,529,591	3,088,400	6,617,991	—	6,617,991
セグメント利益	155,752	149,826	305,578	△90,301	215,277

- (注) 1. セグメント利益の調整額△90,301千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)  
該当事項はありません。